

○3番 佐藤稟太郎君

僕は子どもでも気軽にバスケなどができる場所について、質問します。

行橋市には、バスケットコートやサッカーコートなどが少なく、友達と遊んでも行く場所がなく、困ることがよくあります。体育館に行こうとしても使用料が高かったり、大人がいないと入れない場所が多く、子どもはあまり遊ぶ場所がないです。

このような現状について、執行部はどのようにお考えでしょうか。

○前半議長 龍山咲良君

執行部に答弁を求めます。

市長。

○市長 工藤政宏君

佐藤議員のご質問にお答えします。

まず遊び場ですけれども、確かに特にボール遊びだったりをする場所は少ないのかなと思います。またそれ以外にも長年やはり子どもたちの遊び場がないとか、そういったご意見を市民の方々からいただいております。

私も視察なんかに行くときにでも、時間さえあれば、いろんな公園を見て回るようにしております。先日は東京のほうでスケートボードができるような公園ですけれども、それをちょっと空き時間に見て来たりしました。またバスケットなんかも、私が見た所はハーフコートだったんですけれども、そういった所を見て来たりもしました。

こういった公園をつくるときに、一つやはり大きな問題となってくるのが、いわゆる騒音の問題とか、例えばボールをついたときの振動だったりとか、そういったことを結構気にされる市民の方々も実際にいらっしゃるんですよね。全国でも、やはりそういったところが問題になったりもしております。

ここで、まず佐藤議員からいただいたような、やはりそういう遊び場が欲しい、そういったことを真摯に受け止めながら、どこですれば実現可能なのかといったところを我々執行部も考えていく必要があるなというふうに思っております。

本来であれば、市民の皆さんと一緒に新しい公園、こういった公園が欲しいか、また今ある公園をどうやったらさらに使いたくなる、遊びに行きたくなる公園にできるかということでワークショップ、皆で話し合うような場といったものを企画しようとしていたんですが、ちょっとこれがうまく今できないような状況にありますので、新たなかたちで市民の皆さん方を交えながら、公園の新しい在り方、欲しい公園は何かといったところを話すような機会をつくりたいと思っております。

また公園ではありませんけれども、やはり遊びといったものは大変重要であると思っておりますので、いま田んぼを使って遊ぶような田んぼプロジェクトと

いったものも市民参画型で進めておりますので、そういったかたちでも遊び場を考えてまいりたいと思っております。以上でございます。

○前半議長 龍山咲良君

佐藤議員。

○3番 佐藤稟太郎君

騒音などが気になる人がいるとおっしゃっていましたが、蓑島など、家等がない場所につくるのは、どうでしょうか。

○前半議長 龍山咲良君

執行部に答弁を求めます。

市長。

○市長 工藤政宏君

ありがとうございます。まず、一つはそうですね、行橋市内にもいろいろな地域がありまして、例えば住宅が密集しているような地域、それから例えば騒音を考えたときに、そういった比較的住宅が密集していないような地域、あるいは蓑島、今井のほうに行橋の総合公園、総合体育館があります。あそこは敷地が随分広いので、そういった所の中で、今おっしゃったような遊び場、例えばバスケットコートならばバスケットコート、そういったことができないかといったことを模索するのも一つだと思います。

また騒音という観点からいきますと、全天候型、これ、できるかできないかは別として、可能性としてという話ですけれども、要は建物の中にそういった遊び場をつくるといったものもありかもしれません。

実際に全国いろいろ見ていきますと、いろいろな所で全天候型、雨が降ろうが風が吹こうが遊べるような環境をつくっている自治体も、いま少しずつですが増えてきているような印象があります。そういったところも考えながら、遊び場といったものをつくっていけたらと思っております。以上です。

○前半議長 龍山咲良君

佐藤議員。

○3番 佐藤稟太郎君

以上で質問を終わります。ありがとうございました。